

車山チャレンジスキー

- 開催日 2019年12月28日～12月30日
- 会場 車山ハイランドホテルおよび車山高原スキー場
- ディレクター名 小林伸也（こばしり）

■キャンプのねらい

- 「楽しかった！」を味わう
→スキーを通して「またやりたい!」「また来たい!」という気持ちを持ち帰る。
- 集団生活から学ぶ体験
→お友だちと共同、共有する。
お兄さんお姉さんとしての姿を見せる。

■同行スタッフ（キャンプネーム）

ぽてと、よもち、おぐしお、しみりゅう、こばち、レッサー
みり、イアーゴ、アポロ、わか

■活動内容

<1日目>
集合、移動
車山ハイランドホテル到着
ブーツ合わせ
スキーレッスン①
スキークイズ大会

<2日目>
スキーレッスン②③
レクリエーション大会

<3日目>
スキーレッスン④
移動、解散



ホテルに到着！お昼を食べたらさっそくスキーへ出発です。



スキー班の発表タイム！班ごとスキーに向けて準備を整えました。



ゲレンデに到着したらレッスン開始！ワクワクドキドキの時間です。



初めてスキーをする子は、片足スキーから始めていきます。



1日目の夕食。子どもも大人もたくさん食べて満腹でした。



夜はスキークイズ大会。スキーに関してO×クイズを行いました。



2日目の朝は体調チェックから始まりました。みんな元気いっぱい！



スキーレッスン開始！気合い十分で雪上に出かけていきました。



レッスンの間には雪あそびをして、たくさん雪に触れました。



初心者班は午後にはリフトに乗り、滑って止まれるようになりました。



経験者の班はスイスイ滑って滑走量を増やしました。



ハの字の大きさを変えて、スピード調整もできるようになりました。



レッスンの合間に休憩。休憩することも大事な事の一つです。



キャンプ最後の夜は大レク大会！みんなで盛り上がりました。



楽しい時間を過ごし、最後はこぼしりからのお話しタイムです。



3日目。インストラクターから改めてリフトの話をお聞きます。



前の人の後ろをついて滑れるようになりました。



レッスンが終わったら、みんなで思い切り雪遊びをして終了です。

■キャンプのエピソード

「スキー楽しかった！」

今回のキャンプではスキー初心者が多く、中には「スキーできるかな?」「うまく滑れなかったらどうしよう…」と不安になっている子もいました。「大丈夫! ゆっくり行こうね」とスタッフが励ましますが、「嫌だな…」とボソッとつぶやく姿も。リフトに乗って「いざ滑るぞ!」というタイミングで、その子は止まってしまいました。スタッフが「無理かな?」と思い、声をかけようとしたところで、その子から「頑張る!」の一言が。自分の中で一歩踏み出して進む姿がありました。滑り終えたら「楽しかった!」「もう一回!」と何度も挑戦したいという気持ちが溢れ出ており、勇気を持って一歩踏み出す姿に子ども力強さを感じた一コマでした。

「お兄さんお姉さんの姿」

今回の対象は年長～小学6年生までで、年齢幅の広いキャンプでした。この広い年齢幅で行われるキャンプでは「年上の子は年下の子のお世話をする」「年下の子は年上の子の真似をする」といった様子が見られるのは不思議ではありません。今回の生活の時間では、年上の子は年下の子の荷物の整理を手伝ってくれたり、寂しくなって泣いている子に「大丈夫だよ」と励ましてくれる頼もしい姿を何度も見る事ができました。年下の子は食事の片づけを行う年上のお兄さんお姉さんの姿を見て、一緒に片づけようとする様子がありました。良いバランスでお互いに関わり合う様子がとても素敵だなと感じました。